



ワークライフバランスフェスタ東京2013



WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2013

結果報告書

2013年3月

－ 目 次 －

P.1	開催概要
P.2	参加団体・企業一覧／会場案内図
P.3	来場者登録分析／来場者アンケート集計結果
P.8	東京ワークライフバランス認定企業：認定状授与式・認定企業紹介
P.10	東京ワークライフバランス認定企業：認定企業ブース
P.11	イベント（メインステージ／セミナースペース／ブース内プレゼンテーション）
P.13	5周年記念企画
P.15	広報活動

◆ 開催概要

- ◆ 名 称：ワークライフバランスフェスタ東京2013
- ◆ 開催日時：2013年2月7日（木）10：00－17：00（開場9：45）
- ◆ 会 場：東京国際フォーラム 展示ホール（2）
東京都千代田区丸の内三丁目5番1号
- ◆ 入 場 料：無 料
- ◆ 主 催：東京都
- ◆ 共 催：子育て応援とうきょう会議
- ◆ 後 援：東京労働局、東京商工会議所、東京経営者協会、東京都中小企業団体中央会、
東京都商工会連合会、(社)東京工業団体連合会、東京中小企業家同友会、
日本労働組合総連合会東京都連合会、東京地方労働組合評議会、
(公財)日本生産性本部、独立行政法人労働政策研究・研修機構、
(財)21世紀職業財団、(公財)東京都中小企業振興公社、(公財)東京しごと財団
- ◆ 来場者数：3,961名
(公式)

◆ 参加団体・企業一覧

認定企業ブース
■ 長時間労働削減取組部門
学校法人 川口学園
テラインターナショナル 株式会社
■ 休暇取得促進部門
アルス 株式会社
■ 育児・介護休業制度充実部門
サイボウズ 株式会社
株式会社 テイルウィンドシステム
医療法人 柏堤会 奥沢病院
株式会社 マルヨシ
■ 多様な勤務形態導入部門
大友不動産 有限会社
クラスメソッド 株式会社
株式会社 テレワークマネジメント

出展企業・団体ブース
NPO法人 ファザーリング・ジャパン
NPO法人 コチカラニッポン
株式会社 ビストロパバ
株式会社 ワーク・ライフバランス
公益財団法人 東京しごと財団 東京しごとセンター
株式会社 東レ経営研究所
公益財団法人 日本生産性本部 (ワーク・ライフ・バランス推進会議)
株式会社 wiwiw
東京労働局 (雇用均等室・労働時間課)
子育て応援とうきょう会議
東京都労働相談情報センター
東京都産業労働局雇用就業部

◆ 会場案内図

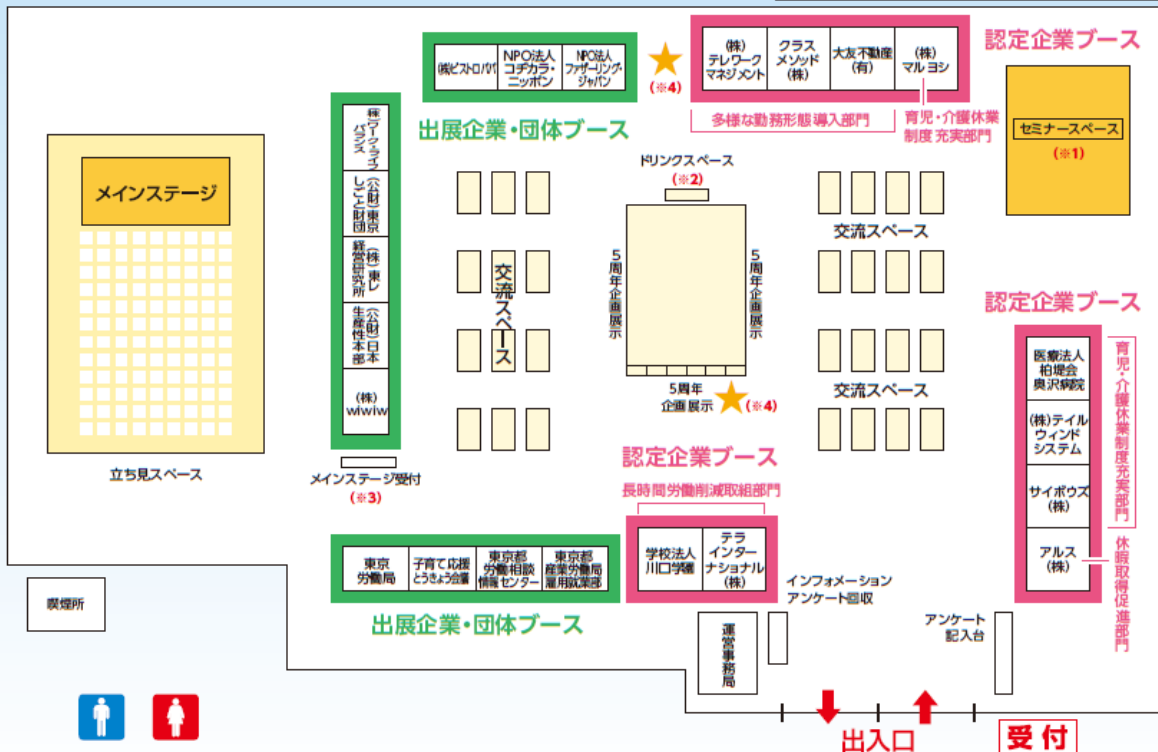
働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2013

WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2013

会場案内図

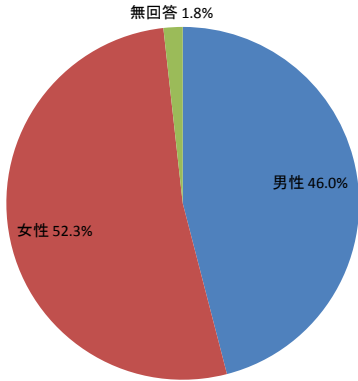
(※1) セミナースペースは自由席です。
(※2) ドリンクサービスは、交流スペースにてご利用いただけます。
(※3) メインステージは認定状態と式以外、事前申請・予約済の方を優先的にご案内させていただきます。
(※4) ワークライフバランス認定スタンプを記載しております。



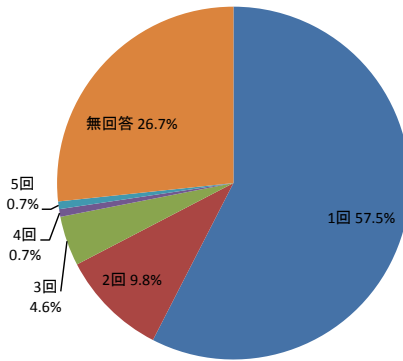
◆ 来場者登録分析

※各選択肢の回答率(%)は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

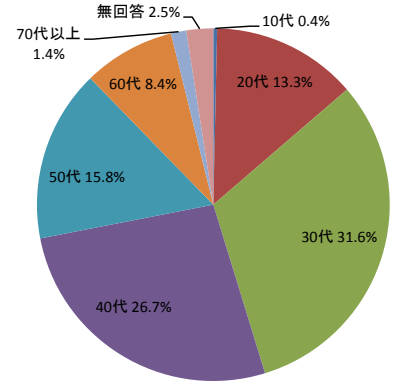
A.性別



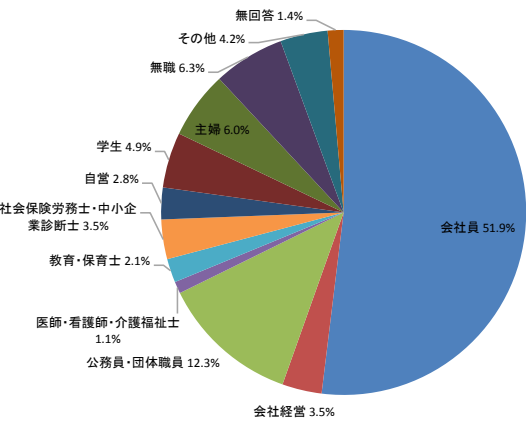
B.フェスタへの来場回数



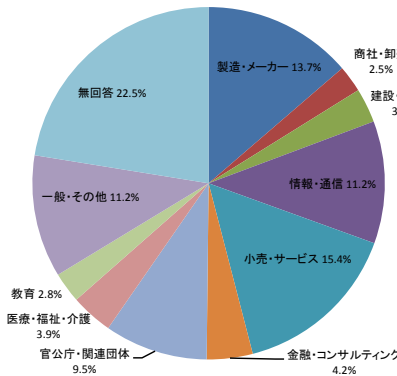
C.年代別



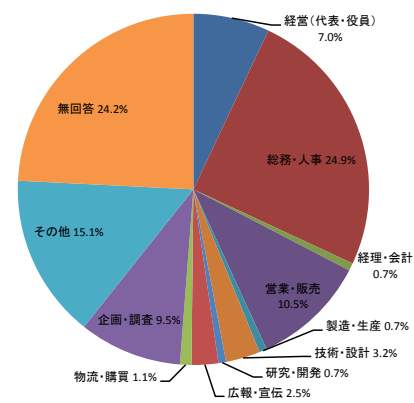
D.職業別



E.業種別



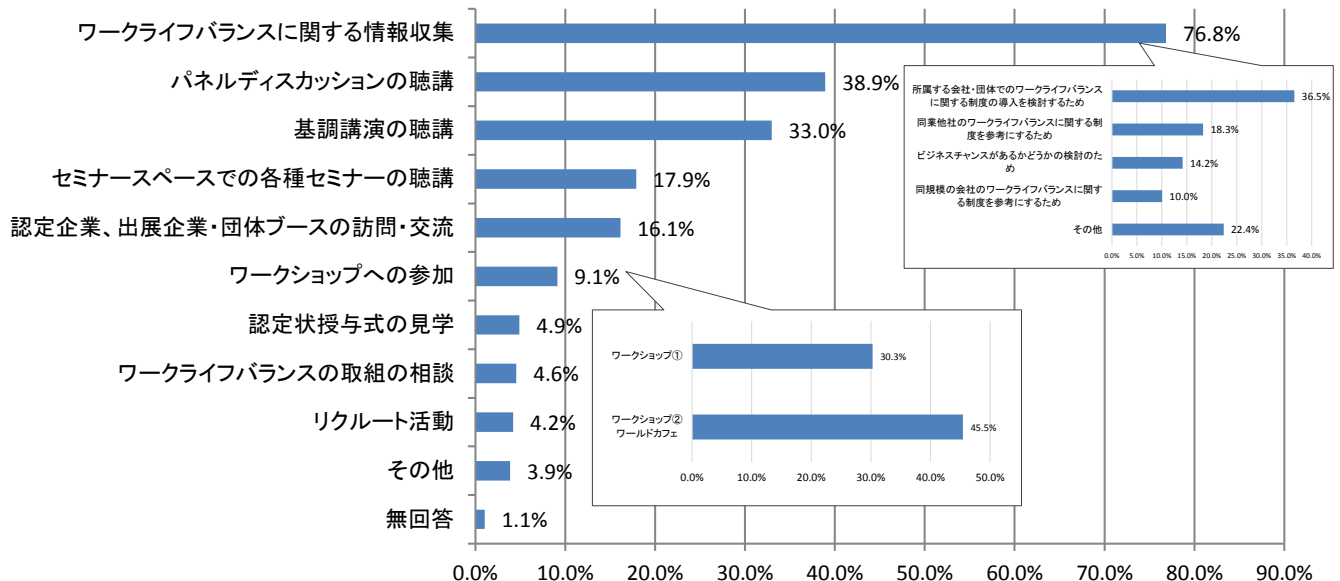
F.職種別



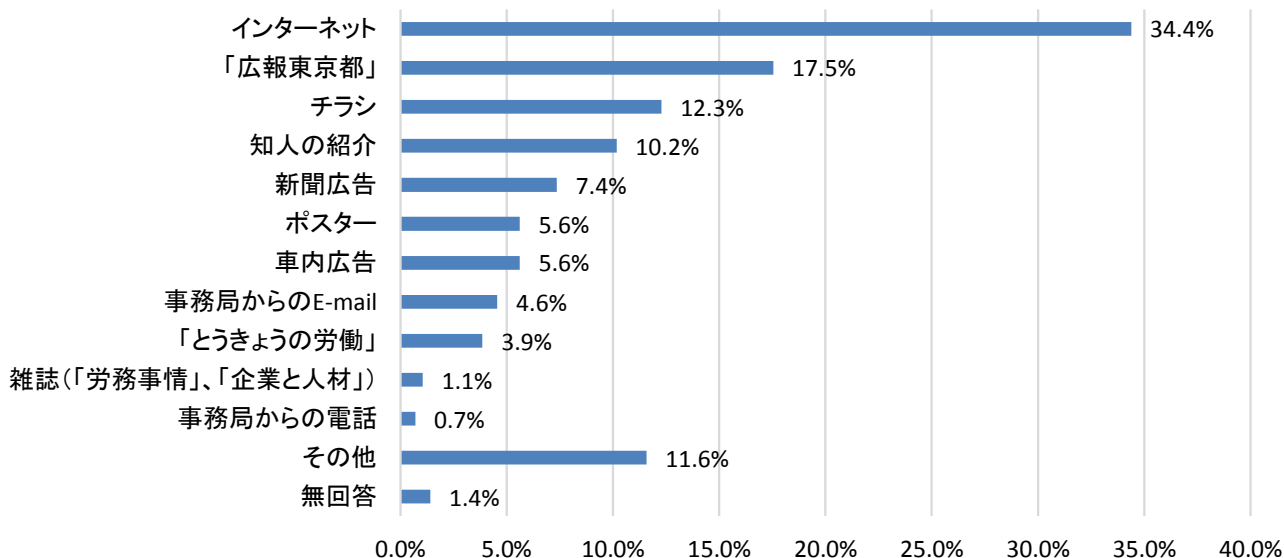
◆ 来場者アンケート集計結果

※各選択肢の回答率(%)は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

1.ご来場の主な目的は何ですか？(複数回答)



2.フェスタの情報を何で知りましたか？(複数回答)

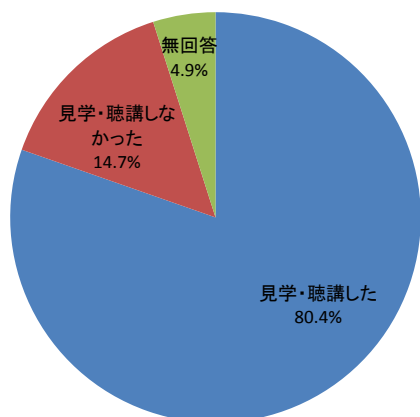


3.どのブースをご覧になりましたか？(複数回答)

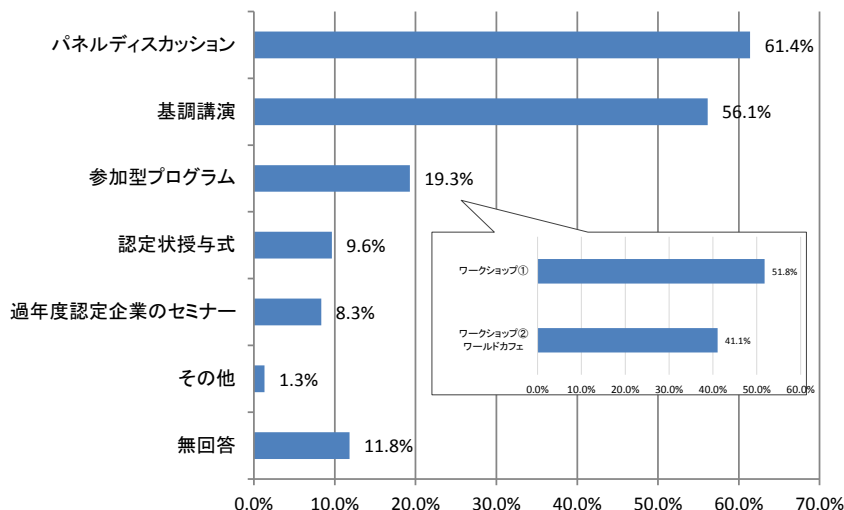
東京ワークライフバランス認定企業	ブース名	割合
長時間労働削減取組部門	学校法人 川口学園	21.8%
	テラインターナショナル 株式会社	14.7%
休暇取得促進部門	アルス 株式会社	17.8%
育児・介護休業制度充実部門	サイボウズ 株式会社	25.3%
	株式会社 テイルウィンドシステム	12.4%
	医療法人 柏堤会 奥沢病院	16.4%
	株式会社 マルヨシ	18.2%
多様な勤務形態導入部門	大友不動産 有限会社	18.7%
	クラスメソッド 株式会社	15.6%
	株式会社 テレワークマネジメント	18.2%

出展企業・団体	割合
NPO法人 ファザーリング・ジャパン	31.1%
NPO法人 コチカラ・ニッポン	28.0%
株式会社 ビストロパパ	19.1%
株式会社 ワーク・ライフバランス	44.9%
公益財団法人 東京しごと財団	22.7%
株式会社 東レ経営研究所	33.8%
公益財団法人 日本生産性本部	20.9%
株式会社 wiiw	15.1%
東京労働局(雇用均等室・労働時間課)	30.7%
子育て応援とうきょう会議	16.9%
東京都労働相談情報センター	26.7%
東京都産業労働局雇用就業部	31.6%

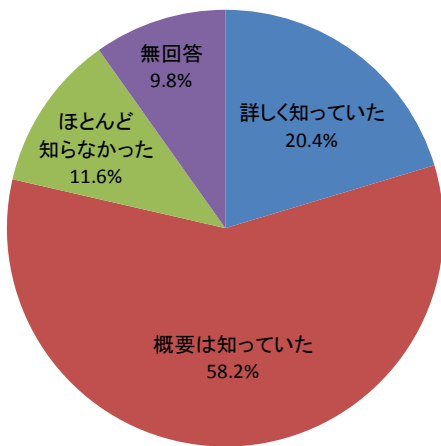
4.メインステージイベント及び
セミナースペースイベントを
聴講されましたか？(複数回答)



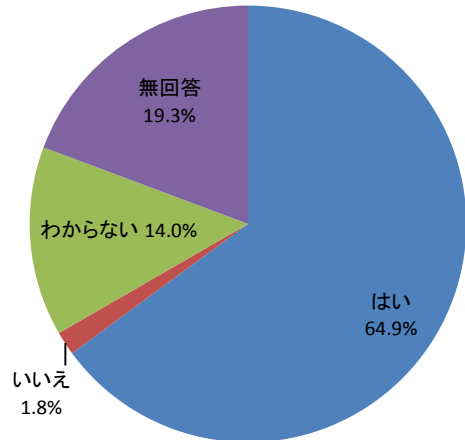
5. (4で「見学・聴講した」と回答した方を対象)
どのイベントを見学・聴講されましたか？(複数回答)



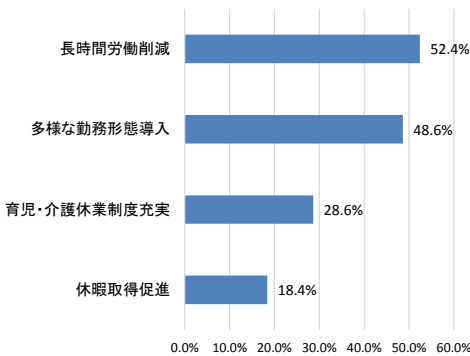
6.フェスタを通じてワークライフバランスへの理解は深まりましたか？



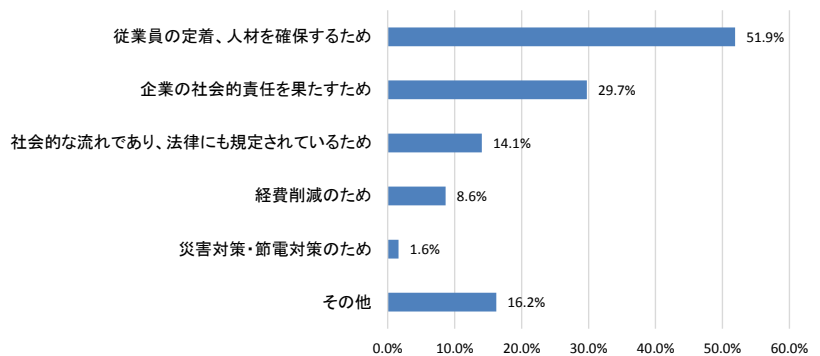
7.御社でもワークライフバランスに取り組みたいです thinks か？



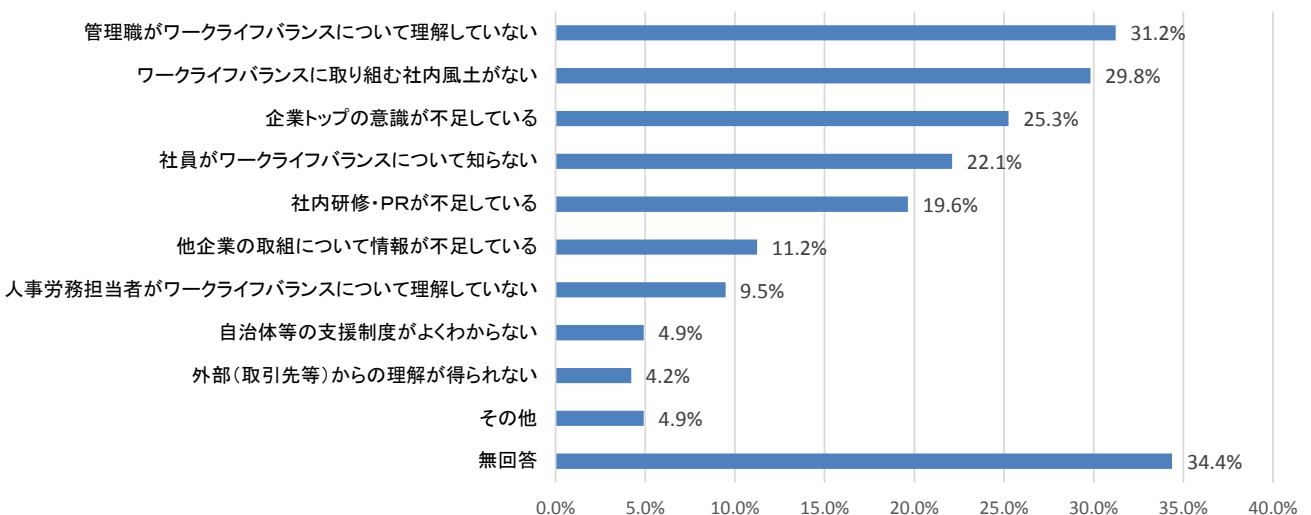
8.(7で「はい」と回答した方を対象)
どの分野に関心がありますか？



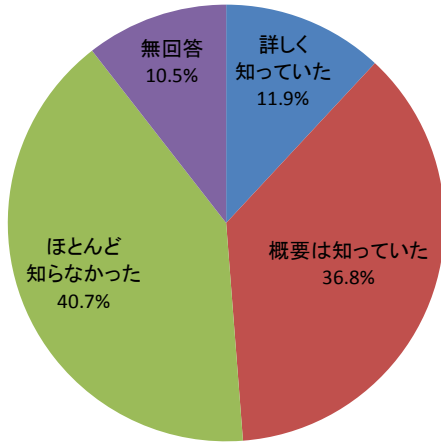
9.(7で「はい」と回答した方を対象)
なぜワークライフバランスに取り組みたいです thinks か？



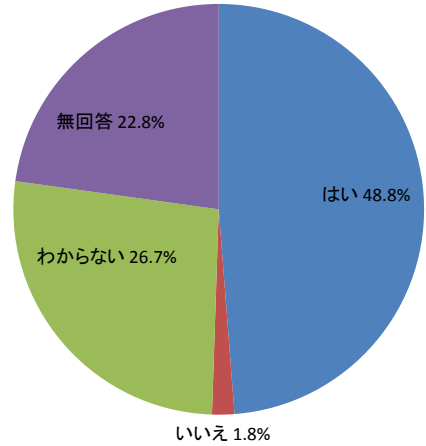
10.ワークライフバランスの取組について、御社で抱える課題について教えてください。(複数回答)



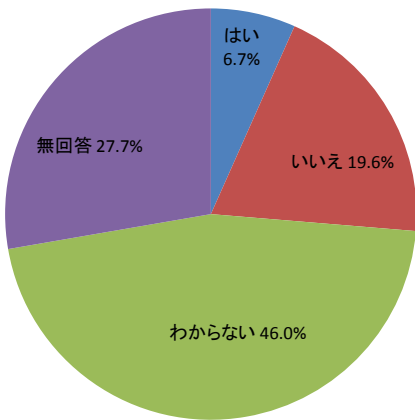
11.ワークライフバランスに関する東京都の取組についてご存知でしたか？



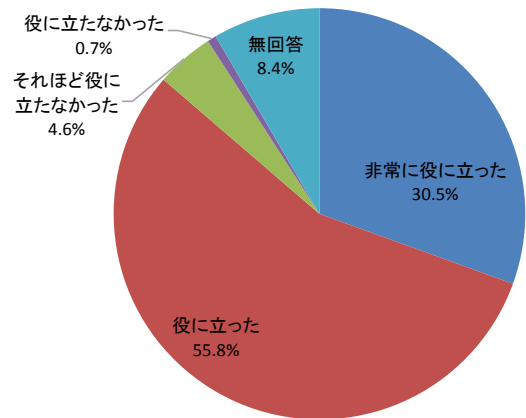
12.東京都の「東京ワークライフバランス認定企業」の取組は、御社でワークライフバランスを実践する上で参考になりましたか？



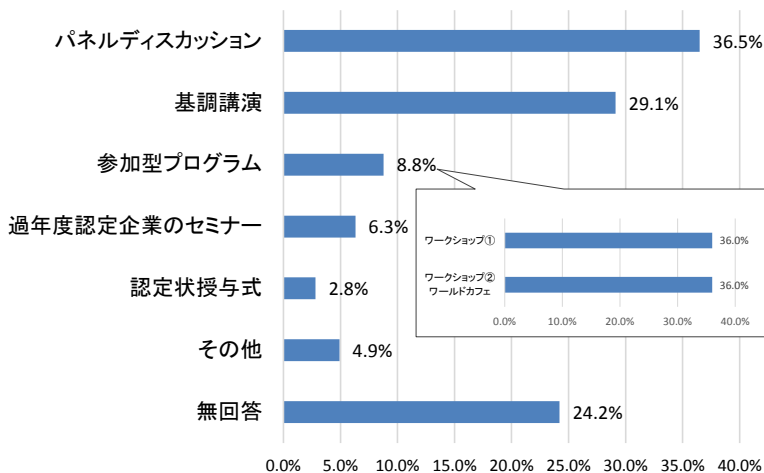
13.来年度の認定企業に応募したいと思えますか？(5月～7月募集予定)



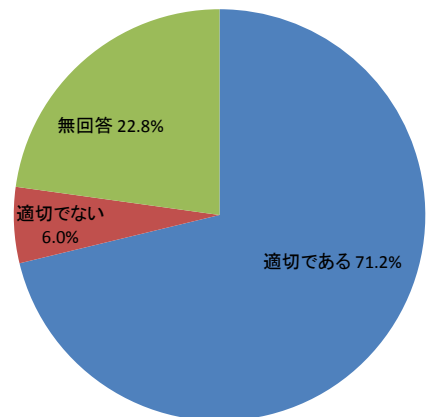
14.今回のフェスタは役に立ちましたか？



15.一番参考になったイベントは何ですか？



16.フェスタの開催時期は適切ですか？



17. 来場者の声(一部抜粋)

- ・企業としてWLBを進める厳しさを再認識した。また、人としての生き方を考えた。(女性:40代)
- ・なんでも責任を持たなければならないと感じました。(女性:50代)
- ・「働くために生きるのではなく、生きるために働く」たくさん企業がワークライフバランスを取り入れてほしい。(女性:20代)
- ・休職中の身で若干心苦しい部分がありましたが、なんとなく。がんばろうと思いました。(女性:20代)
- ・WLBに関する様々な立場の方の意見を聞くことができ、WLBを多角的にとらえることができた。(女性:20代)
- ・日頃からWLBに関心があり、有識者の方の意見を聞くことで参考になり、職場で実行に移そうと思った。(男性:50代)
- ・まずは自分の意識改革が必要。会社全体にも周知させたい。(女性:30代)
- ・考えるきっかけになりました。来てよかったです。(女性:20代)
- ・大変参考になりました。一般の方の参加がもっと増えるとういすね。(女性:20代)
- ・人事・総務担当が経営トップでないモデルケースを聞いても実践できないように思う。(男性:50代)
- ・企業を選ぶ方の立場なので、条件が細かく理解できたと思う。(女性:40代)
- ・良いイベントだと思う。(男性:30代)
- ・無料で参加できるセミナーなど、大変ありがたいです。(女性:40代)
- ・セミナーの内容・時間・枠が充実していて、とても良かったです。(男性:20代)
- ・多くの情報をいただけで参考になりました。(女性:40代)
- ・テラインターナショナル様の取組が非常に参考になりました。(男性:20代)
- ・東レのセミナーは有意義であった。(女性:30代)
- ・継続は力なり。メジャーイベントになるまでがんばってください。(男性:70代以上)
- ・PRを活性化させ、興味ない人への認知度を高めたい。(男性:40代)
- ・情報を知らず、偶然同僚がポスターを見て教えてくれました。他会議と重なり、パネル以外の講演が聴けず残念です。(女性:50代)
- ・知人の会社が認定されたため、このイベントを知ることができました。今一つ宣伝が行き届いてないように思います。とても良いイベントなのにもったいないと思いました。(女性:40代)
- ・今後の就職活動の参考にしたいと思います。(女性:20代)
- ・就職活動中の学生ですが、働き方考える上で大変良い勉強になりました。ありがとうございました。(女性:20代)
- ・WLBに対するイメージが変わりました。また、学生なので実際に働いている方々の仕事観に関するお話を直接伺えたのは非常に有意義なものでした。(女性:20代)
- ・場違いかと思ってしまいました。働いている方が圧倒的に多かった。全国からいらっやってくるのは驚きました。(男性:40代)
- ・ワールドカフェだけの参加だったが、次回は全体プログラムに参加してみたいと思いました。(男性:50代)
- ・来場者、特に女性が多く、沢山の企業が関心を持っていると感じた。続けて欲しいです。(男性:50代)
- ・自分に甘いめなかなかなか効率的に動こうとしない自分に、気合いをもらえました。(女性:40代)
- ・フォーラムでの開催は便利。(女性:40代)
- ・アクセスも良く、レイアウトも良い。結局1日居てしまいました。(男性:50代)
- ・今回は求職者の視点からWLBがどれほど浸透しているか、どんな取組をしているのかをみせてもらいました。3歳児の母親ですが、個人でも今からできること、もっと父親に育児・家事を手伝ってもらおうなど、意識が変わりました。また、機会があれば夫にもこのようなセミナーに参加してもらおうと思います。(女性:20代)
- ・パネラーの皆様の意見しみじみと感じました。まだまだ子育てしながらの女性が働きにくい社会なので、こういったフェスタを増やして企業の意識が変わっていくことを願います。子どもがいることがハンデにならない社会になると良いです。(女性:30代)
- ・森永さんのラテン化活動、共感しました。社内でも広げていきたいと思っています。ありがとうございました。(女性:40代)
- ・個人のスキルアップで残業が減らせるという意識に目から鱗、本当に実践ですね。ママパパになる前からWLBを考えた結婚活動かなと思います。イクメンになりそうな将来像を描ける夫婦間を先にもちたい。(女性:50代)
- ・思ったよりもいろいろな情報が得られ、無理して来てよかったです。(女性:30代)
- ・思わぬ発見もあり、大変有意義であった。(男性:30代)
- ・今、仕事を探している者ですが、今回の催しは企業向けのもだったことが来てから分かりました。働きたい側に向けてのイベントも今後開いて欲しい。それにしても、東京ごとセンターの存在を知ることでも、パネルディスカッションもすごく良かったです。ありがとうございました。(女性:40代)
- ・認定された企業ではなく、WLBを推進する企業(コンサルティングを行う業務)のリアルな話をもっと聞きたかったです。(女性:30代)
- ・子連れでも参加できるように、保育士の学生などの有償ボランティアを入れてほしい。もっと広い枠での事例(鬱病や障害など)がほしい。(女性:40代)
- ・WLBフェスタもエコプロのように一般認識されるようになってほしい。キッズスペースや保育スタッフを配置すると育児中の方でも来場しやすいのでは。(女性:40代)
- ・労働組合の立場で参加しました。春闘ではワークライフバランス推進が各企業のテーマとして取り上げられています。フェスタで得た知識・情報を春闘に活かすためにも、もう少し早めの開催がありがたいです。(男性:30代)
- ・良いものは広げるべきである。もっと多く開催してほしい。(男性:年齢不明)
- ・2日ほど開催してほしい。たまたま東京都のHPで知ったのもっとPRして欲しい。(男性:40代)
- ・一年に一回の開催ではなく、もう少し目に触れる機会を増やしてほしい。団体や部署(行政)がいくら増えても、一般の認知度が低すぎるとは社会が動かないと感じる。(女性:30代)
- ・土日開催だとよりうれしい。(男性:40代)
- ・休日開催の方が来場者も多く見込めるのではないと思いました。(男性:20代)
- ・人事担当者向けならこの時間、曜日での開催が適切と思うが、一般の社会人にも関心をもってもらいたいなら、20:00頃まで開催した方が良かった。(男性:30代)
- ・基調講演の時間が13時からだと会社を抜け出して聴きに出やすいです。(女性:30代)
- ・とても適切な規模だと思います。(男性:30代)
- ・もっと広い会場で規模を大きくすると良いと思います。(女性:40代、50代)
- ・東京だけでなく、西日本でもこのような機会があれば良いと思います。(男性:30代)
- ・懇親会の実施を強く希望します。(男性:30代)
- ・講演を増やしてほしい。(女性:20代)
- ・ちょっと内容が難しかった。企業を選ぶ人の立場に立ったイベントを。(女性:40代)
- ・パネルディスカッションのスペースが狭く、聞き取りづかった。もっと広い会場を希望する。(女性:50代)
- ・次回はパネルディスカッションの席をもっと増やしてほしい。(女性:30代)
- ・もう少し「介護と仕事の両立」をテーマにしたブース(企業)を増やしてもらおうと参考になったと思います。(女性:40代)
- ・出展数が少ないように感じた。(女性:30代)
- ・ブースが受け身。何を伝えたいのか一見してもわからない。(女性:30代)
- ・入場に名刺が必要なことは事前にアナウンスしてほしい。パネルディスカッションの会場で、前の方が関係者席になっているのが気になった。(男性:30代)
- ・ブースの周りに社員がうろろろして入りづらいブースがあった。(男性:50代)
- ・同規模、同形態の企業事例がなかったのであまり役に立たなかった。(女性:40代)
- ・企業向けの内容になっていた感じが、働いている人、働きたい人向けの講座、内容のセミナーブースが少ない印象。ワークショップの時間が短かった。(男性:40代)
- ・専業主婦として、次に再就職をする際に向けてWLBへの理解を深めたいと思い参加しました。ですが実際には企業の人事担当者の方のご参加が多く、私のような人の参加はあまりみられなかったです。WLBを推進してほしいのは当事者(子育て中のママなど)がもっと参加するようなものになったらよいと思いました。(女性:30代)

◆ 東京ワークライフバランス認定企業／認定状授与式・認定企業紹介

①東京ワークライフバランス認定企業

東京ワークライフバランス認定企業とは、従業員が仕事と生活を両立しながら、いきいきと働き続けられる職場の実現に向け、優れた取組を実施している中小企業を都が認定するものです。

今年度の東京ワークライフバランス認定企業に、以下の4部門で合計10社が選ばれました。



長時間労働削減取組部門

学校法人 川口学園
テラインターナショナル 株式会社

休暇取得促進部門

アルス 株式会社

育児・介護休業制度充実部門

サイボウズ 株式会社
株式会社 テイルウィンドシステム
医療法人 柏堤会 奥沢病院
株式会社 マルヨシ

多様な勤務形態導入部門

大友不動産 有限会社
クラスメソッド 株式会社
株式会社 テレワークマネジメント

②認定状授与式(11:30～12:05)

メインステージにおいて、「東京ワークライフバランス認定企業 認定状授与式」を行い、平成24年度認定企業10社の代表者に認定状を授与いたしました。

授与式には、中西 充・東京都産業労働局長、小倉 一哉・審査委員長代理（早稲田大学商学部准教授）、穂岐山 晴彦・東京都産業労働局雇用就業部長、戸澤 互・東京都産業労働局事業推進担当部長が出席しました。



主催者挨拶
東京都産業労働局長 中西 充



審査講評
審査委員長代理 小倉 一哉



認定状授与式
授与: 東京都産業労働局長 中西 充

(敬称略)

③認定企業紹介(12:05~12:30)

「認定状授与式」に引き続き、「認定企業の取組紹介」を行いました。

認定企業の代表者にご登壇いただき、取組の目的や、運用のポイント、今後ワークライフバランス推進を目指す来場者に役立つアドバイスなどをスピーチしていただきました。



④認定企業の取組及び認定制度をPR

認定企業10社の取組内容や認定制度を、公式HPや公式ガイドブックに掲載し、各社の企業価値の向上を図るとともに、本認定制度及びフェスタの認知度の向上を図りました。

入場無料

開催日時
平成25年2月7日
10:00~17:00 (開催9.45)

会場
東京国際フォーラム
展示ホール2

開催概要

認定企業紹介

イベント詳細

出展企業・団体

事前来場登録・聴講予約

会場アクセス (外部リンク)

働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2013

WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2013

認定企業紹介 (4部門10社)

長時間労働削減取組部門

川口学園

【主な取組内容】

- 個人別勤務シフト表 (計画・実績) による共有化、可視化
- 残業事前申請の義務付け
- 機械整備の導入による残業時間の徹底
- 出勤基準等の統一化と「就業に関する運用事例集」による周知

テレインターナショナル(株)

【主な取組内容】

- 定時退社推進運動及び優秀者への表彰
- 職場活性化ワーキンググループの設置
- 業務効率向上に役立つツールの公開・共有

休暇取得促進部門

アルス(株)

【主な取組内容】

- 法定超の年次有給休暇・看護休暇等
- つわり休暇

お問い合わせ先

ワークライフバランスフェスタ東京2013事務局
〒112-0004 東京都文京区湯島2-13-10 (株)JTB内
TEL: 03-3813-1735 FAX: 03-3813-1785

東京都産業労働局 雇用就業課
労働環境課 雇用平等推進係
〒100-0001 東京都千代田区千代田2-0-1
都庁第一本庁舎31F
TEL: 03-5320-4649 FAX: 03-5308-1469
E-mail: 5000444[at]section.metro.tokyo.jp

※送付メール対応のため、メールアドレスの表記を変更しております。
お手数ですが、(at)を@に置き換えてご利用ください。

主催: **東京都**
共催: 子育て応援とつきよう会館

東京ワークライフバランス認定制度について

◆目的
従業員が仕事と生活を両立しながら、いらいれと働き続けられる職場の実現に向けた取り組みを奨励している中小企業を「東京ワークライフバランス認定企業」として広く世に公表し、仕事と生活の両立(ワークライフバランス)等、働き方の向上について社会的意識の醸成を図るとともに、都内中小企業と産業界の連携を促進する。

◆応募対象
都内に本社または主要事業所を置く、常時雇用する従業員数が300人以上の企業、社団法人、財団法人、NPO法人等

◆応募部門
1. 長時間労働削減取組部門
2. 休暇取得促進部門
3. 育児・介護休業法対応部門
4. 多様な雇用形態推進部門

◆募集期間
平成24年5月8日~7月31日

◆応募数
応募企業数 24社 / 認定企業数 26社

◆審査の仕組み
応募書類の審査を行う「取組内容審査」、外部専門機関が応募企業を訪問し、取組内容についてヒアリングを行う「外部専門審査」の結果をもとに、「東京国際フォーラム」主催の「認定企業審査委員会」での採点の結果に基づき審査を行います。
○ 採点者を定め、社内全体で実施している取組であること
○ 社内研修や取組に力を入れており、かつその効果が明確に認められること
○ 従業員が意見を反映できる仕組みがあること
○ 取組が社内周知されており、利用実績があること

◆平成24年度審査委員(候補者)(5社5名)
審査委員長 田中 博 学習院大学経済学教授
審査委員長 佐藤 一夫 早稲田大学経済学教授
小室 淑恵 東京ワークライフバランス代表取締役社長
林 真由美 経済産業省中小企業事業推進センター長
伊藤 雄夫 建設省労働政策評価センター長
野野 友子 日本労働組合総連合会労働政策調査部長

- 4 -

認定企業紹介

認定部門 長時間労働削減取組部門

学校法人 川口学園 TEL/FAX: 03-3200-8500/03-3200-8665
URL: http://www.kawaguchi-g.ac.jp

会社概要
【所在地】学校法人 川口学園 (〒100-0001 東京都千代田区千代田3-11-17)
【代表者】校長 田中 博
【設立】創設/1959年(15年経) 認定/1999年(15年経)

取組内容
● 労働時間削減(残業削減)により、従業員がワークライフバランスを両立できること
● 就業時間短縮による業務効率の向上
● 就業時間短縮による業務効率の向上
● 就業時間短縮による業務効率の向上

テレインターナショナル株式会社 TEL/FAX: 03-5979-7173/03-5979-7175
URL: http://www.tlram.com.jp

会社概要
【所在地】テレインターナショナル株式会社 (〒100-0001 東京都千代田区千代田3-4-3 高島イースト)
【代表者】代表取締役 佐藤 一夫
【設立】創設/1999年(12月経)

取組内容
● 就業時間短縮による業務効率の向上
● 就業時間短縮による業務効率の向上
● 就業時間短縮による業務効率の向上

◆ 東京ワークライフバランス認定企業／認定企業ブース

① 認定企業ブース

認定企業ごとにブースを設け、DVDの放映や取組内容のパネル展示などを行い、各社の取組をわかりやすくまとめて紹介することで、来場者との交流を促進し、ワークライフバランスの普及・啓発に努めました。



② 取組紹介DVD

各認定企業の、会社紹介・取組紹介・担当者インタビューや社員の声などで構成した映像を作成し、各ブース内で放映しました。また、映像は雇用就業部HP（TOKYOはたらくネット）にも掲載しました。



③ 取組紹介パネル及びリーフレット

各認定企業の取組を3枚のパネルにまとめ、各ブースで紹介するとともに、同内容のリーフレットを制作し、各ブースに立ち寄った来場者に配布しました。

■ パネル



■ リーフレット



◆ メインステージイベント

メインステージでは、パネルディスカッションや基調講演、参加型ワークショップなどを行いました。

メインステージイベント	
10:15	<p>10:15~11:15 WLBのはじめの一歩 ～時代に求められるWLBとは～</p> <p>パネラー</p> <p>獨協大学教授・経済アナリスト 森永 卓郎氏 (株)ワークライフバランス 代表取締役社長 小室 淑恵氏</p> <p>育児情報誌「miku」編集長 高祖 常子氏</p> <p>港シビル(株) 代表取締役(昨年度認定企業) 倉本 眞澄氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>フリーアナウンサー・元NHKアナウンサー 膳場 貴子氏</p> <p>フリーアナウンサー・元NHKアナウンサー 膳場 貴子氏</p> <p>97年、アナウンサーとしてNHKに入社。静岡放送を経て00年春にNHK東京アナウンス室所属となる。06年退職後、TBSの原稿手、NEMS23のサブキャスターに就任。原稿手時代、09年からニュースリアルタイムNEMS23でメインキャスターとなり、社会情勢や経済動向の解説など、幅広い分野で活躍。最近では、NHKの番組「NHKニュースリアルタイム」のメインキャスターとして、ニュースの解説や、最新のニュースを分かりやすく伝えることに注力している。ネット時代の新しいスタイルで視聴者を魅了し続けている。</p>
11:30	<p>東京ワークライフバランス認定企業 認定状授与式</p> <p>11:30~12:05 東京ワークライフバランス認定企業 認定状授与式</p> <p>12:05~12:30 東京ワークライフバランス認定企業 紹介</p> <p></p>
12:50	<p>ワークショップ① 12:50~13:50 「初めての方でも分かる! 自分軸発見セミナー」</p> <p>NPO法人ファザーリング・ジャパン講師 八坂 貴宏氏</p>
14:10	<p>14:10~15:10 「個人も会社も成長するワークライフバランス」</p> <p>基調講演</p> <p>(株)東し経営研究所 特別顧問 佐々木常夫氏</p> <p>北田隆出身。東京大学経済学部卒業。自らの経験とノウハウを基に、育児、家事、介護に悩まされる状況の中で、経営会社の再建やさまざまな事業改革に取り組み、2001年、同僚のトップで取締役就任。2003年し経営研究所を設立。2011年にはビジネス豊島優秀経営者賞を受賞。</p>
15:30	<p>ワークショップ② 15:30~16:50 「ワールドカフェ」</p> <p>フェスタで学んだ内容や感じたことなどを少人数で話し合い、新たな気づきと実践への足がかりをつかみます。</p>



パネルディスカッション



基調講演



◆ セミナースペースイベント

セミナースペースでは、認定企業、出展企業・団体や過去認定企業による各種セミナーを行いました。

※過去認定企業によるセミナーは14ページ参照

セミナースペース プログラム	
10:00	
30	
11:00	11:10～11:25 株式会社 テレワークマネジメント ●「特別休暇」が強い組織をつくる！～在宅勤務導入の壁と、その解決策教えます～ <平成24年度 多様な勤務形態導入部門 認定>
30	
12:00	
30	12:30～12:50 株式会社 ツナグ・ソリューションズ ●「特別休暇」が強い組織をつくる！～戦略的な休職制度の3つのポイント～ <平成22年度 休職取得促進部門 認定>
13:00	13:00～13:40 株式会社 ワーク・ライフバランス ●介護と仕事の両立セミナー～大介護時代を切り切る働き方～
14:00	13:50～14:10 小菅 株式会社 <平成22年度 長時間労働削減取組部門 認定> ●49人50脚
30	14:30～14:50 株式会社 wiiw ●制約社員の戦力化、大作戦！
15:00	15:10～15:30 株式会社 ベアーズ <平成22年度 育児・介護休業制度充実部門 認定> ●働く女性を応援するベアーズの取り組み
30	15:40～16:00 株式会社 東レ経営研究所 ●育児・介護の両立のための短時間勤務制度の課題と運用ポイント
16:00	16:10～16:25 大友不動産 株式会社 <平成24年度 多様な勤務形態導入部門 認定> ●手賃1万円・二週間で優秀な人材を採用する求人戦略
30	
17:00	

※オープンスペースで開催しますので、座席が満席になった場合でも、立ち見にてご覧頂けます。

※上記の時間等は変更になる可能性があります。

時間や回数、内容詳細等については直接ブースにお訪ねください。 /24年度東京ワークライフバランス認定企業 /出展企業・団体

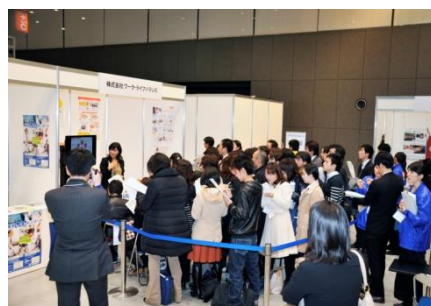
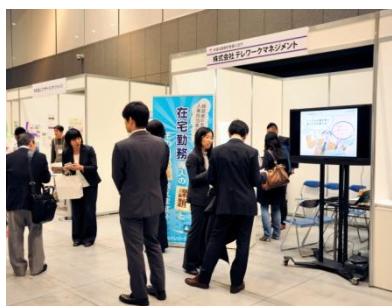


◆ ブース内プレゼンテーション

認定企業、出展企業・団体ブースにてプレゼンテーションが行われ、来場者との交流が図られました。

■ブース内プレゼンテーション情報

会社名	内容	所要時間	実施時間・回数
株式会社ワーク・ライフバランス	介護と仕事の両立セミナー～大介護時代を切り切る働き方～ 小企業でもプレゼン致します。セミナースペースでの参加が難しい方は本館へどうぞ！	30分	11:45～12:15 1回
株式会社テレワークマネジメント	バーチャルオフィスツールの実演と体験	10分	随時実施 20回程度実施予定
株式会社 wiiw	制約社員の戦力化、大作戦！ (育児休業者能力アップ支援、仕事と介護の両立支援)	15分	随時実施 6回程度実施予定



◆ フェスタ5周年記念企画

「フェスタ5周年記念企画」として、会場全体でワークライフバランスの初歩的知識から実践的なものまで、来場者それぞれに合ったテーマで能動的学習ができるようなイベントを企画しました。また、「5周年ロゴ」を作成し、チラシ・ポスター・公式ガイドブック・啓発グッズに入れるなど、開催5周年をアピールしました。



① 参加型プログラム

ワークショップ1：「初めての方でも分かる！自分軸発見セミナー」 12:50～13:50

ワークショップ2：「ワールドカフェ」 15:30～16:50

※フェスタで得た情報や知識について、テーマを決めて少人数制のグループごとに意見交換



② ワークライフバランス検定

自分自身に必要な情報を自ら選択し、自身や自社のワークライフバランスに対する理解度を会場内での学習前に把握することで、より効率的にワークライフバランスが学習できるよう、来場者全員に「ワークライフバランス検定」を受付で配布しました。

WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2013 フェスタ5周年記念企画

ワークライフバランス検定

ワークライフバランスに正解はありません。人それぞれのライフスタイルによっても変わってきます。人生のトータルバランスを考え、理想と現実の折り合いを見つけながら自分らしい「ハッピーワークライフ」に取り組みいきましょう

設問を読み、チェックボックスにチェックをしてください。全ての設問を読み回答が終了したら下記を配り、裏面の会場MAPを参照に会場内をご覧下さい。
※なお、受取の方は持ち帰る立場として、集めてもらうしらいしい方は「働いていたら」と仮定してご回答ください。

A なんとなくの無気力や無気力な生活を送っていることがある
 ネット検索や資料作成で時間を費やして仕事したつもりになっている時がある
 労務課の「時間あたりの生産量」を重視している
 労働時間が長い人が評価されるべきだと思う
 不登勤や遅刻の罰金がある
 仕事の進捗や進め方を自分でコントロールしにくい状況がある

B 結婚に関して、身元がしっかり立ってほしい
 病気や怪我などだけでなく、旅行など自身の生活リズムで生活したい
 業務行事で休職を必要とする時でも、休まずに行きたいことがある
 自己申告や面接での希望や条件をすべて、受ける側が選んでしまう
 「これは良きなり」「時間を取れる」という感覚はない

C 育児や介護の状況になった場合、働き続けることは簡単だと思う
 会社の育児・介護に頼む範囲について、よく知らない
 会社以外の育児・介護に頼む範囲について、よく知らない
 社員や、多くは管理職の形態をフォローすることは無い
 社内外に相談ができる体制や仲があまりない

D ライフスタイルに合わせて勤務場所が選択できるような職場ではない
 残業できる、できないなど個人の事情に応じた働き方が選択できるような職場ではない
 仕事のシフトやローテーションを柔軟に組み替える
 社員でない方も働ける立場があるように、社内内職やサブ業務などの工夫をしていない
 ライフスタイルに合わせて勤務場所が選択できるような体制（在宅勤務など）ではない

A チェックが4つ以上ある場合
B チェックが3つ以上ある場合
C チェックが3つ以上ある場合
D チェックが3つ以上ある場合

長時間労働削減 取組部門 認定企業ブース
休暇取得促進 取組部門 認定企業ブース
育児・介護休業 制度充実部門 認定企業ブース
多様な勤務形態 導入部門 認定企業ブース

裏面にもご覧ください。

会場MAP

フェスタ5周年記念企画

フェスタ5周年記念企画
「ワークライフバランスフェスタ」は、仕事と生活の両立を支援するためのイベントです。フェスタ5周年記念企画として、会場内でのワークライフバランスの初歩的知識から実践的なものまで、来場者それぞれに合ったテーマで能動的学習ができるようなイベントを企画しました。また、「5周年ロゴ」を作成し、チラシ・ポスター・公式ガイドブック・啓発グッズに入れるなど、開催5周年をアピールしました。

●ワークライフバランス検定
●会場内でのワークショップ
●フェスタ5周年記念企画
●5周年ロゴ
●公式ガイドブック
●啓発グッズ

フェスタ5周年記念企画
「ワークライフバランスフェスタ」は、仕事と生活の両立を支援するためのイベントです。フェスタ5周年記念企画として、会場内でのワークライフバランスの初歩的知識から実践的なものまで、来場者それぞれに合ったテーマで能動的学習ができるようなイベントを企画しました。また、「5周年ロゴ」を作成し、チラシ・ポスター・公式ガイドブック・啓発グッズに入れるなど、開催5周年をアピールしました。

●ワークライフバランス検定
●会場内でのワークショップ
●フェスタ5周年記念企画
●5周年ロゴ
●公式ガイドブック
●啓発グッズ

【限定グッズ】



【限定グッズ】



また、会場内に設置されているスタンプを検定用紙に押していただいた来場者先着500名限定で、限定グッズを配布しました。



③過去認定企業セミナー

来場者により多くの事例を紹介するため、過去認定企業によるセミナー講演を行いました。

- 平成22年度 長時間労働削減取組部門認定
小菅 株式会社 (13:50-14:10) [49人50脚]
- 平成22年度 休暇取得促進部門認定
株式会社 ツナグ・ソリューションズ (12:30-12:50) [「特別休暇」が強い組織をつくる]
- 平成22年度 育児・介護休業制度充実部門認定
株式会社 ベアーズ (15:10-15:30) [働く女性を応援するベアーズの取り組み]



④過去認定企業パネル展示

来場者により多くの事例を紹介するため、過去認定企業に「認定時」から「現在」までの取組を取材・分析し、まとめたパネルを展示しました。

- 平成21年度 長時間労働削減取組部門認定
認定NPO法人 フローレンス
- 平成23年度 休暇取得促進部門認定
株式会社 ゼネット
- 平成21年度 育児・介護休業制度充実部門認定
株式会社 トーリツ
- 平成23年度 育児・介護休業制度充実部門認定
フコクしんらい生命保険 株式会社
- 平成23年度 多様な勤務形態導入部門認定
株式会社 キャリア・ママ



⑤過去認定企業 iPadによる紹介

過去4年間の認定企業の取組をまとめたリーフレットデータをiPadに入れ来場者への自由閲覧を行うと同時に、はたらくネットの紹介も行いました。

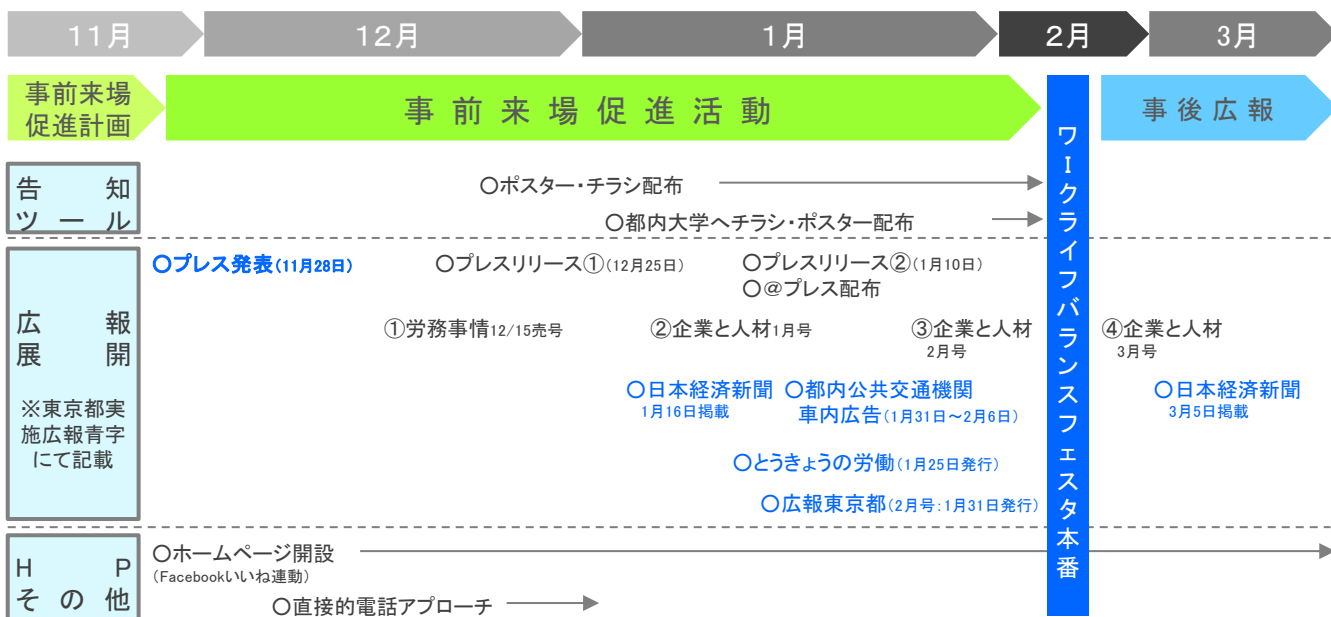


◆ 広報活動

① 広報活動全体スケジュール

フェスタ開催までの事前来場促進活動として、専門誌や新聞への事前告知広告や特集記事の掲載、都内公共交通機関への広告掲載、プレスリリースを実施しました。プレス発表後公開の公式ホームページでは、Facebookとの連動を行い間接的アプローチを強化したほか、協力団体のメーリングリスト、都内中小企業1,000社に対する電話アプローチにより、直接的な来場誘引を行いました。

さらに、新たな集客として都内の大学へポスターやチラシの事前送付を行いました。フェスタ開催後は、事後広報として専門誌や新聞への掲載を実施しました。



② 告知ツール展開

フェスタ告知用のチラシ・ポスターを作成し、開催告知及び来場者誘致活動を展開しました。関連団体・企業のほか、東京都関連施設を中心にチラシの配布、ポスターの掲示を依頼しました。また、都内大学(20校)へのポスター・チラシの配布も行いました。



会場内でもポスターの掲示を実施



働き方を見直すいきいき職場を応援！
ワークライフバランスフェスタ東京2013
WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2013

入場無料

東京都がワークライフバランスに
取り組む中小企業を紹介します！

WLBフェスタ開催5周年

パネLDiscussion 10:15-11:15
WLBのはじめの一歩 -時代に求められるWLBとは-

基調講演 14:10-15:10
個人も会社も成長する「ワークライフバランス」

フェスタ5周年記念企画
開催日時：平成25年2月7日(水)10:00～17:00(開場9:45)
会場：東京国際フォーラム展示ホール2
主催：東京都 共催：子育て応援とつなぐ会議

www.WLB-FESTA.metro.tokyo.jp

働き方を見直すいきいき職場を応援！
ワークライフバランスフェスタ東京2013
WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO

東京都がワークライフバランスに
取り組む中小企業を紹介します！

平成25年2月7日(水)
10:00～17:00(開場9:45)
東京国際フォーラム 展示ホール(2)

主催：東京都 共催：子育て応援とつなぐ会議
入場無料

イベントの詳細やイベントの登録予約は
イベントホームページをご利用下さい。
www.wlb-festa.metro.tokyo.jp

日本経済新聞 1/16 (水) 掲載

都内公共交通機関 車内広告

- ①都営地下鉄 2/1 (金) ~ 2/7 (木)
- ②都電荒川線 1/31 (木) ~ 2/6 (水)
- ③都バス 1/31 (木) ~ 2/6 (水)
- ④J R 2/2 (土) ~ 2/6 (水)

④広報展開：事後広報

「企業と人材（3月号）」、「日本経済新聞」、「とうきょうの労働（3月号）」にて事後広報記事を掲載しました。

1000社
1000社
1000社

識者・人事教育コンサルタントに聞く

人材育成のあり方と育成施策

人と組織の力を高める人材開発情報誌
企業と人材
vol.46 No.1001
3
2013

出版に条件する行政官の有効活用
「優秀な人材」をどう育てるか
教育スタッフの任務は
教育課題の設定を社を越えさせること

産勞総合研究所

ワークライフバランスフェスタ東京2013
WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2013

働き方を見直すいきいき職場を応援！ 平成25年2月7日
東京国際フォーラム 展示ホール(2)

基調講演 14:10-15:10
個人も会社も成長する「ワークライフバランス」

パネLDiscussion 10:15-11:15
WLBのはじめの一歩 -時代に求められるWLBとは-

フェスタ5周年記念企画

www.WLB-FESTA.metro.tokyo.jp

とうきょうの労働 平成25年3月号
http://www.tokyo.metro.tokyo.jp

「ワークライフバランス」を推進する企業を認定し、成長を促す

東京都では、仕事と生活の両立を促す働き方の実現に向けて、優れた取組を実施している企業を「ワークライフバランス推進企業」として、毎年10社を表彰しています。平成24年度「ワークライフバランス推進企業」に、8月に東京国際フォーラムで開催したイベント「ワークライフバランスフェスタ東京2013」にて認定授賞式を行いました。今年度は授賞式を行いました。

学芸大学川口分館	アワンテック株式会社	株式会社アス
主な取組内容 ① 学芸大学川口分館 ② 学芸大学川口分館 ③ 学芸大学川口分館 ④ 学芸大学川口分館	主な取組内容 ① 学芸大学川口分館 ② 学芸大学川口分館 ③ 学芸大学川口分館 ④ 学芸大学川口分館	主な取組内容 ① 学芸大学川口分館 ② 学芸大学川口分館 ③ 学芸大学川口分館 ④ 学芸大学川口分館

認定企業数：10社

認定企業名：学芸大学川口分館、アワンテック株式会社、株式会社アス、株式会社アス、株式会社アス、株式会社アス、株式会社アス、株式会社アス、株式会社アス、株式会社アス

企業と人材（3月号：事後広報掲載）

とうきょうの労働（3月号）

ワークライフバランスフェスタ東京2013
WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO

働き方を見直すいきいき職場を応援！ 平成25年2月7日
東京国際フォーラム 展示ホール(2)

基調講演 14:10-15:10
個人も会社も成長する「ワークライフバランス」

パネLDiscussion 10:15-11:15
WLBのはじめの一歩 -時代に求められるWLBとは-

フェスタ5周年記念企画

www.wlb-festa.metro.tokyo.jp

日本経済新聞 3/5 (火) 掲載

⑤ホームページ…訪問件数 10,440

公式ホームページを開設し、事前来場者登録や、メインステージイベントの事前聴講予約などを受け付けました。

また、認定企業や出展企業・団体の詳細情報やイベントの新着情報を更新し、機能的な情報発信媒体として活用しました。さらに、Facebookの連動も行い、より広い周知に努めました。

入場無料

開催日時

平成25年2月7日(土)

10:00~17:00 (開場 9:45)

会場

東京国際フォーラム
展示ホール2

- 開催概要
- 認定企業紹介
- イベント詳細
- 出展企業・団体
- 事前来場登録・聴講予約
- 会場アクセス (外部リンク)

最新情報

2012/11/28
ホームページを開致しました。

いいね! <547

お問い合わせ先

ワークライフバランスフェスタ東京
2013事務局
〒112-0004 東京都文京区後楽2-13-10
(株)ムラヤマ内
TEL:03-3813-1735 FAX:03-3813-1785

東京都産業労働局 雇用就業部
労働環境課 雇用平等推進係
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
都庁第一本庁舎31F
TEL:03-5320-4649 FAX:03-5388-1499
E-mail: S000044(at)section.metro.tokyo.jp

※迷惑メール対策のため、メールアドレスの表記を変更しております。
お手数ですが、(at)を@に置き換えてご利用ください。

働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2013

WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2013

WLBフェスタ開催5周年



5th

WLBフェスタ開催5周年

くらしと企業のより良い未来へ、
好循環サイクルの実現

パネルディスカッション 10:15~

WLBのはじめの一歩 ~時代に求められるWLBとは~

コーディネーター フリーアナウンサー・元NHKアナウンサー 齋藤 貴子氏
パネラー 筑波大学教授・経済アナリスト 森永 卓郎氏
(株)ワークライフバランス 代表取締役社長 小室 淑恵氏
育児情報誌「miku」編集長 高祖 常子氏
週シビル(株) 代表取締役(専任副社長) 倉本 眞澄氏

基調講演 14:10~

個人も会社も成長するワークライフバランス

(株)東し経営研究所 特別顧問 佐々木常夫氏



齋藤 貴子氏



小室 淑恵氏



佐々木常夫氏



齋藤 貴子氏

東京都がワークライフバランスに取り組み中小企業を紹介します!!

経営者の方々、人事労務担当者、働きやすい職場をお探しの学生・転職希望者には必見のイベントです。

5周年記念企画

開催5周年を記念し、会場全体でワークライフバランスについて学んでいただけるようなコンテンツをご用意します。過去認定企業のパネル展示や資料の自由閲覧コーナーの設置のほか、来場者全員にWLB検定を実施します。

当日は降雪が予想されるため、
ご来場の際は十分にお気をつけください

事前予約制のメインステージイベントに予約がされている方は、開演15分前に受付へお越しください。万が一公共交通機関等の遅延があった場合でも、スケジュール通り実施いたします。予めご了承ください。



⑥情報掲載新聞・雑誌等メディア一覧

掲載日	メディア名
2013年2月13日	建通新聞
2013年2月20日	週刊高齢住宅新聞
2013年3月15日	労務ダイジェスト

【建通新聞】2月13日（木）掲載

港シビル・倉本社長がパネリスト出演
ワークライフバランスフェスタ東京2013（主催・東京都）にパネリストとして出演した「写真」これから就職する若い人が、土木は魅力ある産業だと思えるためにもワークライフバランスは大事」と述べた。同社は1年度に

長時間労働を削減する取り組みを東京都が評価し、認定されている。同フェスタは、仕事と生活を両立させながらいきいき働き続けられる職場の実現を目指す「ワークライフバランス」を普及させる（WLB）をテーマとする。倉本社長は「社員には資格を取得する勉強時間を勤務時間内に設けた。水曜日午後5時退社して、午後5時で退社させている。WLBを推進できるかどうかは経営者の意識が非常に大事だ」と話した。

【週刊高齢住宅新聞】2月20日（水）掲載

東京都は毎月、ワークライフバランスフェスタ2013を都内で開催。パネリスト出演した倉本眞澄社長は「WLB（ワークライフバランス）のほんの第一歩として、高齢者の生活の質を高めることが重要」と話した。また、親の状態によって介護の内容や準備も異なることなど、介護する必要性がある場合は、会社の人事に早めに現状を伝え、自身のキャリアアップの相談に乗ってもらったほうが良い」と述べた。

終、小室社長は「介護と仕事の両立セミナー」大介護時代を乗り切る働き方」と題したセミナーを行い、「男性が介護と仕事を両立できる企業への変革が急務。企業自身が介護に関する情報提供を行い、介護に直面する前から職員に介護について考えてもらう必要がある。職員の意識改革に資する取り組み、働き方の見直しをすることが重要」と話した。また、親の状態によって介護の内容や準備も異なることなど、介護する必要性がある場合は、会社の人事に早めに現状を伝え、自身のキャリアアップの相談に乗ってもらったほうが良い」と述べた。

【労務ダイジェスト】3月15日（金）掲載

NEWS CLIP

仕事と生活を両立 人材を活かす職場づくり

「ワークライフバランスフェスタ2013」開催

東京都が主催する仕事と生活の調和を促すワークライフバランスの啓発イベント「ワークライフバランスフェスタ東京2013」が2月7日、東京国際フォーラム（東京都千代田区）で開催された。

少子高齢社会を迎え、企業は育児や介護に直面する人など様々な人が仕事と生活を両立できる働きやすい環境づくりが求められている。

そのような中、80年代後半からいっきと働き続けられにくく取り組む中小企業等がワークライフバランス認定企業に認定。イベントでは、

今年度の認定企業
 ● 長時間労働削減取組部門
 「川口学園」（豊島区）、「テラインターナショナル」（豊島区）
 ● 休暇取得促進部門
 「アルス」（目黒区）
 ● 育児・介護休業制度充実部門
 「サイボウズ」（文京区）、「テイルワーク奥沢病院」（世田谷区）、「マルヨシ」（文京区）
 ● 多様な勤務形態導入部門
 「大友不動産」（板橋区）、「クラスマット」（千代田区）、「テレワークマネジメント」（千代田区）

森本卓郎さんとワークライフバランスのコンサルティングを手掛けるワーク・ライフバランスの倉本眞澄社長らが「時代が求めるワークライフバランスとは何か、ワークライフバランスのはじめの歩み」をテーマに講演した。

倉本社長は「社員には資格を取得する勉強時間を勤務時間内に設けた。水曜日午後5時退社して、午後5時で退社させている。WLBを推進できるかどうかは経営者の意識が非常に大事だ」と話した。

また、講演には自閉症の長男とうつ病の妻を持ち、育児や介護に追われながらも破綻会社改革に取組む、01年には同期のトップで取締役に就任した経歴の持ち主である東レ経営研究所の佐々木常夫特別顧問が登場した。

▲熱心にブースを回る参加者たち